

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

子どもが自分らしく安心して 暮らせるまちをみんなで創り出す

すべての子どもの心身ともに安全で健やかな成長を実現することは、現代社会の重要な課題です。人間としての基礎的な資質が作られるこの時期、大人と子どもの関わりのあり方は、子どもの生涯の充実した人生に大きく影響します。

また、子どもは現在の市民であるとともに、将来の市民社会の中核となる存在です。子どもを健やかに育み、豊かな市民性を培うことは、子どもの生涯を充実させるとともに、将来の市民社会の安定と発展のためにも必要なことです。

「子どもの未来」を重点的に捉え、町田市で育つ子どもの未来が輝かしいものとなるよう、地域も含めて市全体で子どもの育ちや子育てを支援していくという考えのもと、前「町田市子どもマスタープラン」の基本理念「子どもが自分らしく安心して暮らせるまちをみんなで創り出す」を本計画の基本理念として継承します。

2 基本的な視点

◇一人ひとりの子どもの権利実現

子どもは一人の市民です。子どもも大人の市民と同様に、自分の意見を表明することができ、決定に参画する権利があります。子ども自らが考え行動し、他者と関わりながら成長できる環境を整えていくことが求められています。

また、子どもへの権利侵害がおきた場合の救済や、やり直しの機会が保障されるように、大人や社会が受け止めていくことも大切です。

大人も子どもも相互理解を深めながら、市民として現在と未来を一緒に創っていくという視点が必要です。

◇子どもと親がともに成長する

子どもとの関わりを自らの子育てで初めて体験する親が多くなっています。

これまで、親としての自覚や知識・技術を持っていることを前提に支援が組み立ててきましたが、現代の子育てには子どもが成長する時、親も新たな体験を積み重ね、ともに成長していく視点が必要です。

子育てスタート期を大切に、その場だけの助け合いや連携に止まらず、地域での子育て仲間の形成や地域で支え合える土壌づくりをし、子どもも親も地域の人々とともに、成長し合うことが必要です。

◇地域の中で家族を孤立させない

子育ての主体は家族にあります。けれども、家族の中で解決できない時や行き詰まった時に、さりげなく相談に乗ってもらったりすることはとても大きな力になるものです。一方では、子育て観・生活観などの多様化により、子育て家族と地域との結びつきに難しさを感じる市民も多くなっています。

多様な地域社会と家族との関わり方に視点を当てた地域活動が柔軟に展開されて、子育ての支え合いのできる地域社会を創ることが必要です。

◇市民（子どもと大人）と行政の協働を進める

子どもに関わることは、子どもと大人が協働して取り組んでいくことが必要です。また、市民と行政は、行政がやるべきことと市民ができることの分担と協働を協議し、お互いに責任をもって事業を創り出していくことが大切です。

子どもと大人が協働することによって、当事者の視点が明確になりそれぞれの地域の実情にあった施策や活動の方向性が明らかになります。

3 基本目標

基本理念の実現に向け、基本的な視点のもと3つの基本目標を掲げ計画を推進します。

基本目標Ⅰ

子どもが健やかに育ち、一人ひとり自分の中に光るものを持っている

基本目標Ⅱ

子どもが安らいでいる家族があり、家族が地域とつながっている

基本目標Ⅲ

子どもが地域の中で大切にされている

4 施策の体系

【基本理念/視点】

子どもが自分らしく安心して暮らせるまちをみんなで創り出す

◇ 一人ひとりの子どもの権利実現

◇ 子どもと親がともに成長する

◇ 地域の中で家族を孤立させない

◇ 市民（子どもと大人）と行政の協働を進める

【基本目標】

I 子どもが健やかに育ち、一人ひとり自分の中に光るものを持っている

II 子どもが安らいでいる家族があり、家族が地域とつながっている

III 子どもが地域の中で大切にされている

【目指す姿】

1 子どもの遊びや体験が大切にされ、主体的に参加し意見表明できる

2 大人になっていく力をつける

1 親子の健やかな子育て・子育てを切れ目なく支える

2 親が働くことを支える

3 きめ細やかな支援が必要な家族を支える

4 一人ひとりに情報が確実に届く

1 人と人が関わりつながる場をつくる

2 みんなで安全・安心のまちをつくる

【施策の方向】

(1) コミュニケーション能力を育てる

(2) 参加と意見表明の場や機会の確保

(3) 子どもの悩みに対処する体制の充実

(1) 幼児教育・保育の充実

(2) 学校教育の充実

(3) 思春期の子どもと心と身体と健康教育

(4) 体験活動の充実

(1) 親スタート期を支える

(2) 子育て期を支える

(3) 男女共同の子育てを進める

(4) 親の悩みを支える

(1) 保育支援の充実

(2) サービスの質の向上と効果的・効率的な提供の充実

(1) 障がいのある子どもと家族への支援

(2) ひとり親家庭・貧困への支援

(3) 外国籍家族への支援

(4) 被虐待児と家族への支援

(1) 子どもと親への情報の確保

(1) 地域の人材育成と人材活用

(2) 地元事業所・商店の関わり

(3) 体験できる場の充実

(4) 交流できる場の充実

(5) 子どもセンター・地域子育て相談センターを中心とした地域づくり

(1) 子どもの安全・安心の確保

(2) 子育てしやすいまちづくり

5 ライフステージ別施策展開

	妊娠期	乳幼児期	学童期	思春期
【施策の方向】				
I-1-(1) コミュニケーション能力を育てる		○	○	○
I-1-(2) 参加と意見表明の場や機会の確保			○	○
I-1-(3) 子どもの悩みに対処する体制の充実		○	○	○
I-2-(1) 幼児教育・保育の充実		○		
I-2-(2) 学校教育の充実			○	○
I-2-(3) 思春期の子どもと心と身体の健康教育			○	○
I-2-(4) 体験活動の充実		○	○	○
II-1-(1) 親スタート期を支える	○			
II-1-(2) 子育て期を支える		○		
II-1-(3) 男女共同の子育てを進める	○	○	○	○
II-1-(4) 親の悩みを支える	○	○	○	○
II-2-(1) 保育支援の充実		○	○	
II-2-(2) サービスの質の向上と効果的・効率的な提供の充実		○		
II-3-(1) 障がいのある子どもと家族への支援		○	○	○
II-3-(2) ひとり親家庭・貧困への支援	○	○	○	○
II-3-(3) 外国籍家族への支援		○	○	○
II-3-(4) 被虐待児と家族への支援		○	○	○
II-4-(1) 子どもと親への情報の確保	○	○	○	○
III-1-(1) 地域の人材育成と人材活用		○	○	○
III-1-(2) 地元事業所・商店の関わり		○	○	○
III-1-(3) 体験できる場の充実		○	○	○
III-1-(4) 交流できる場の充実		○	○	○
III-1-(5) 子どもセンター・地域子育て相談センターを中心とした地域づくり		○	○	○
III-2-(1) 子どもの安全・安心の確保		○	○	○
III-2-(2) 子育てしやすいまちづくり		○	○	○